

天狗山県自然環境保全地域  
指定書及び保全計画書

平成 3 年 3 月

長 野 県

# 天狗山県自然環境保全地域指定書

## 1. 指定理由

天狗山（標高 1,882メートル）は、南佐久郡川上村と南相木村の村界を東西にのびる稜線上に位置しており、山名（別名 <sup>いかづちやま</sup> 雷山）の示しているように、雨乞い信仰の山である。西側に男山（1,851メートル）、東側に御陵山（<sup>おみはか</sup> 1,822メートル）をもち、その中央にチャートの岩峰としてそびえている。

天狗山の南面（川上村側）は、100～150メートルにおよぶ垂直な岩壁がそそり立ち、ハコネコメツツジが分布している。ハコネコメツツジは、フォッサマグナ要素植物の一つと言われ、県内では天狗山のほか <sup>とぶしだけ</sup> 甲武信岳、男山、<sup>おくらやま</sup> 御座山などに分布が限られている。

このような優れた自然環境を保全するため、長野県自然保護条例第7条第1項第3号及び第5号の規定に基づき県自然環境保全地域として指定する。

## 2. 自然環境の概要

### (1) 植 生

本地域は、山地帯上部から亜高山帯下部にまたがっているが、山頂が比較的低いこと、また寒冷な気候を有すること、および岩尾根が多く発達していることなどの理由により、植生帯を明確に区分できない。

山頂付近は、コメツガの優占する群落で被われ、亜高山帯の景観をよく保持している。

山の南側斜面には、ミズナラやシラカンバの優占する群落が広がる。

山稜南側の岩尾根は、アカマツを主体とする群落が発達している。カラマツ、コメツガが混入し、貧栄養地の上に水分も不足するため植生の発達はよくない。

垂直に切り立つ岩壁には、岩の割れ目や岩肌へへばりつくようにハコネコメツツジが生育しているほか、クモマニガナ、キンスゲ、イワキンバイなどがみられる。

山稜の岩石地で木本類の生育が困難な場所には、イネ科のトクシマギヤカリヤスモドキ、キク科のイワインチン、ヤハズハハコなどが草原状の群落を形成している。

植物分布の上では、暖帯植物といわれるウチョウランが山頂の岩場に産すること、比較的分布の少ないカリヤスモドキが多くみられること、イワインチンとオオイワインチン、マイヅルソウとヒメマイヅルソウ、ミヤマママコナとタカネママコナなど多くの対応種が分布していることが特徴的である。

## (2) 野生動物

本地域には、ホンシュウジカ、ニホンイノシシ、ニホンツキノワグマ、ホンドザル、ホンシュウモモンガ、ニッコウムササビなどの哺乳類が生息しているほか、イヌワシ、ノスリ、オオタカなどの大型鳥類及びメボソムシクイ、コガラ等がみられる。

## (3) 地形・地質・自然現象

本地域は、天狗山秩父古生層帯の天狗山層群におおわれている。北側には合羽坂中生層群及び御座山層群が、南側には川上層群が分布している。

天狗山を中心として東西にのびる山稜ではチャートの発達が著しく、天狗山付近では厚さが最も厚くなっている。

## (4) 気象

年間を通して気温はかなり低く、夏は冷涼で、冬の寒さは厳しい。春から夏にかけて比較的雨が多い。

### 3. 区 域

#### (1) 区域の概要

当区域は、馬越峠<sup>まごい</sup>から天狗山へかけて東西にのびる山稜のうち天狗山山頂  
一帯の南斜面である。

#### (2) 位置及び区域

長野県南佐久郡川上村大字大深山<sup>おおみやま</sup>の一部

別添図面のとおり

#### (3) 面 積

35.90 ha

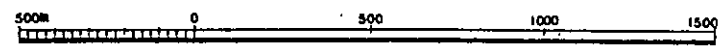
#### (4) 土地所有関係

公有地

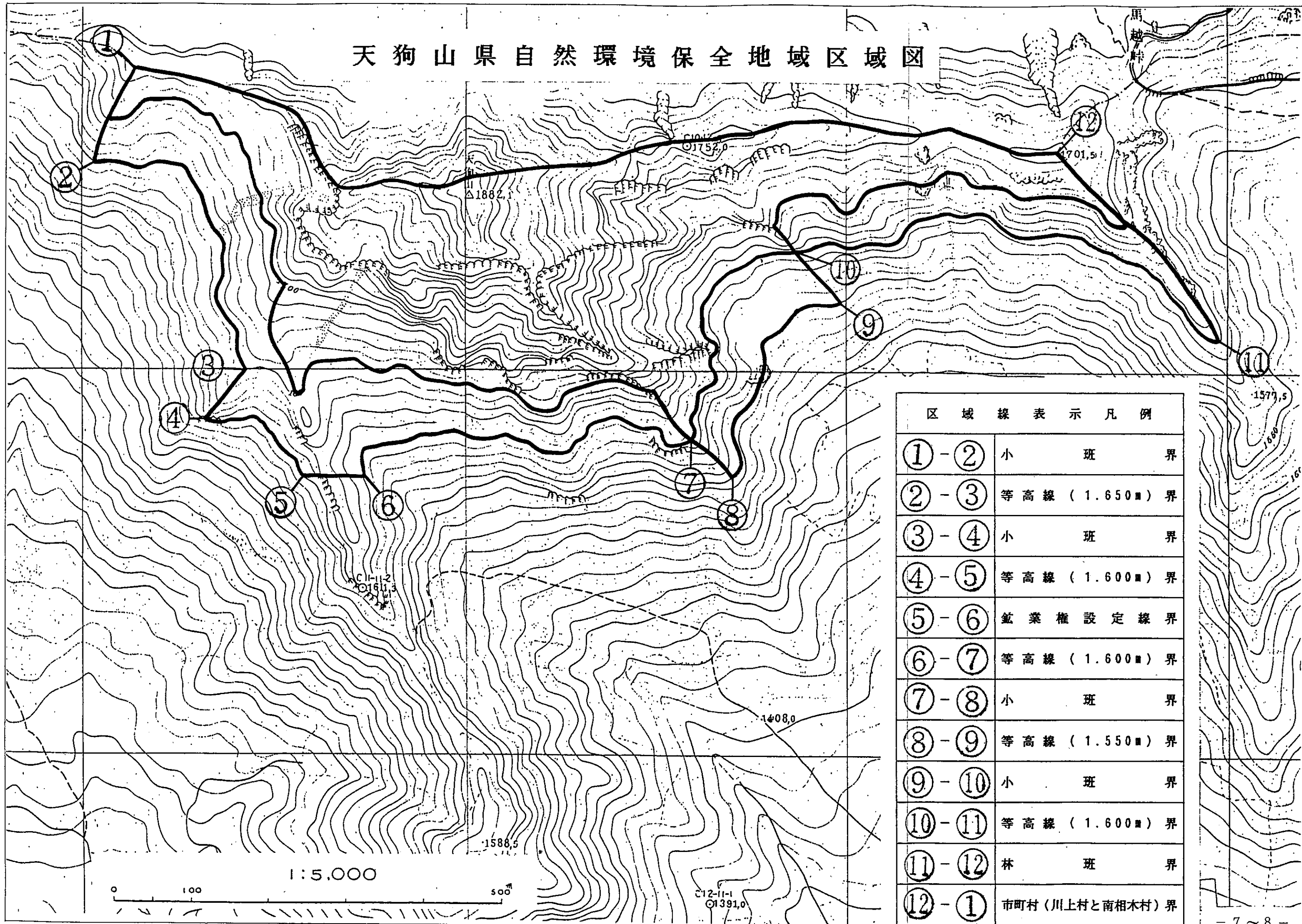
# 天狗山県自然環境保全地域位置図



1:25,000



# 天狗山県自然環境保全地域区域図



区域線表示凡例

① - ②	小 班 界
② - ③	等高線 ( 1.650m ) 界
③ - ④	小 班 界
④ - ⑤	等高線 ( 1.600m ) 界
⑤ - ⑥	鉱業権設定線界
⑥ - ⑦	等高線 ( 1.600m ) 界
⑦ - ⑧	小 班 界
⑧ - ⑨	等高線 ( 1.550m ) 界
⑨ - ⑩	小 班 界
⑩ - ⑪	等高線 ( 1.600m ) 界
⑪ - ⑫	林 班 界
⑫ - ①	市町村 (川上村と南相木村) 界

# 天狗山県自然環境保全地域に関する保全計画書

## 1. 自然環境保全に関する基本的な事項

### (1) 保全すべき自然環境の特質

天狗山は、チャートの岩峰としてそびえ、特に川上村側からの景観がすぐれている。

また、天狗山地域にはハコネコメツツジがみられ、ハコネコメツツジの分布は県内ではこの付近に限られ、植物分布の上で貴重である。

### (2) 権利制限関係等の概要

水源かん養保安林 35.90 ha

### (3) 特別地区の指定及び保全のための規制に関する方針

天狗山を構成するチャートの岩峰を保全するため、天狗山を中心とした地域を特別地区に指定するとともに、天狗山に自生するハコネコメツツジを保護するため、特別地区の全域を野生動植物保護地区に指定し、長野県自然保護条例第10条第3項各号及び第11条第3項に掲げる行為について規制する。

### (4) 保全施設に関する方針

管理上必要な巡視歩道及び標識を設置し、制札等は必要に応じて設ける。

## 2. 地区の指定に関する事項

特別地区は次のとおりとする。

名 称	位置及び区域	面 積	土地所有別面積	摘 要
天狗山 特別地 区	長野県南佐久 郡川上村大字 大深山の一部 区域は、別添 図面のとおり	(ha) 22.54	(ha) 公有地 22.54	天狗山県自然環境保全 地域のうち、チャート の岩峰及びハコネコメ ツツジの分布する地域

総 括 表

区 分	特 別 地 区			普 通 地 区			合 計		
	国有地	公有地	私有地	国有地	公有地	私有地	国有地	公有地	私有地
土地所 有別 面積 (ha)	0.00	22.54	0.00	0.00	13.36	0.00	0.00	35.90	0.00
地区別 面積 (ha)	22.54			13.36			35.90		
地区別 比率 (%)	62.8			37.2			100.0		



### 3. 保全のための規制に関する事項

(1) 野生動植物保護地区は、次のとおりとする。

名 称	保護すべき野生動植物の種類	位置及び区域	面 積	土地所有別面積	摘 要
天狗山 野生動 植物保 護地区	ハコネコメツツジ	長野県南佐久 郡川上村大字 大深山の一部 区域は、別添 図面のとおり	(ha) 22.54	(ha) 公有地 22.54	天狗山 特別地 区的全 域

(2) 条例第10条第3項ただし書きの規定による許可を受けないで行うことができる木竹の伐採の方法及びその限度は、次のとおりとする。

区 域	伐採の方法及びその限度	面 積	土地所有別面積
長野県 南佐久 郡川上 村大字 大深山 の一部	原則として択伐（択伐率は現在蓄積の30パーセント以内）とする。 ただし、森林の群落構成を変える等、自然環境に著しい変化を招くおそれのない場合には、小面積皆伐（1伐区の面積は2ヘクタール以内、伐区は努めて分散させる。）を行うことができる。	(ha) 22.54	(ha) 公有地 22.54

特別地区内不要許可木竹伐採総括表

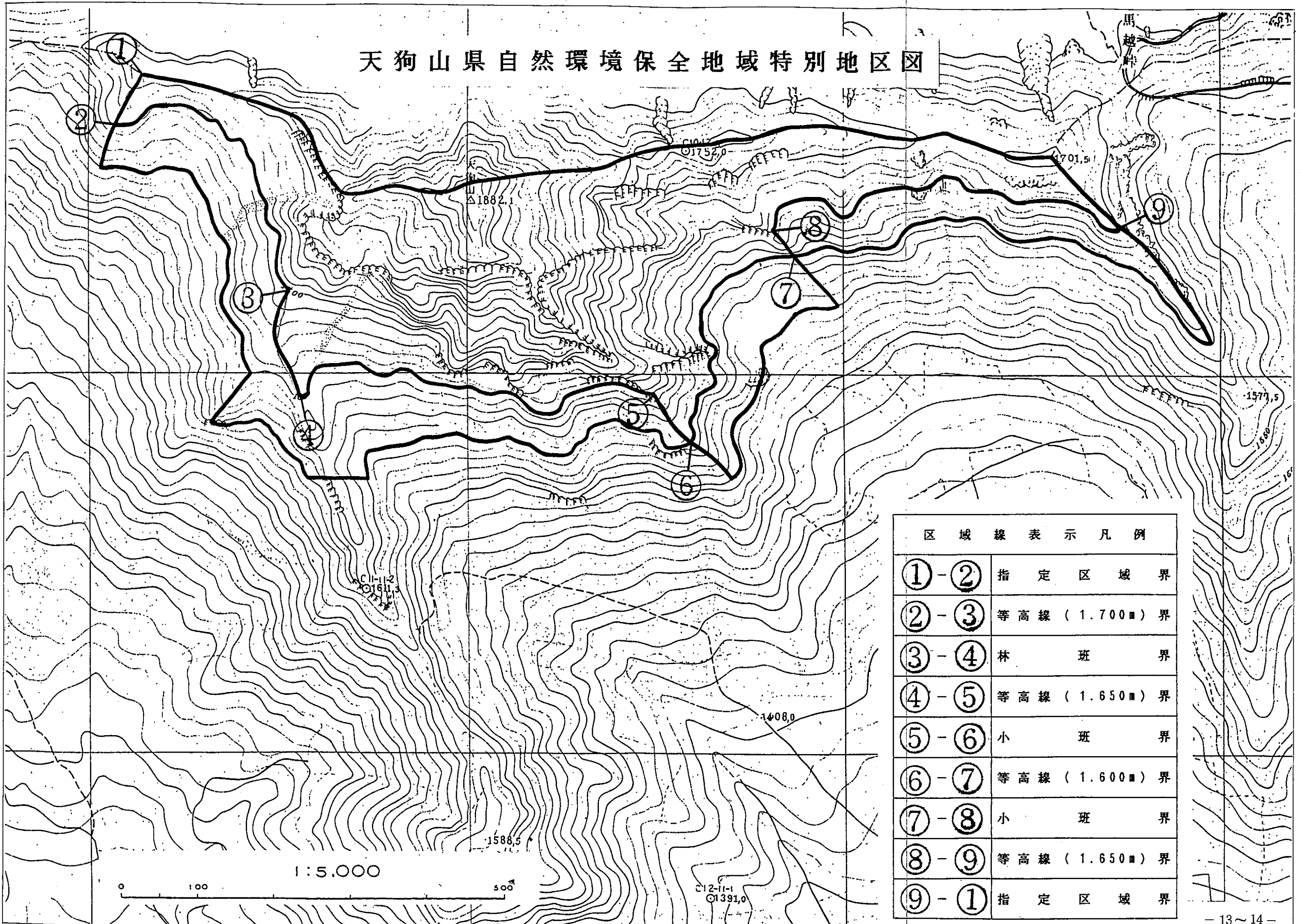
伐採方法・ 限度	禁 伐 等			30%以内 択 伐 等			その他の 方法限度			合 計		
	国 有地	公 有地	民 有地	国 有地	公 有地	民 有地	国 有地	公 有地	民 有地	国 有地	公 有地	民 有地
土地所有別 面積 (ha)	0.00	0.00	0.00	0.00	22.54	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	22.54	0.00
方法・限度 別面積 (ha)	0.00			22.54			0.00			22.54		
方法・限度 別面積 (%)	0.0			100.0			0.0			100.0		

4. 保全のための施設に関する事項

保全施設は次のとおりとする。

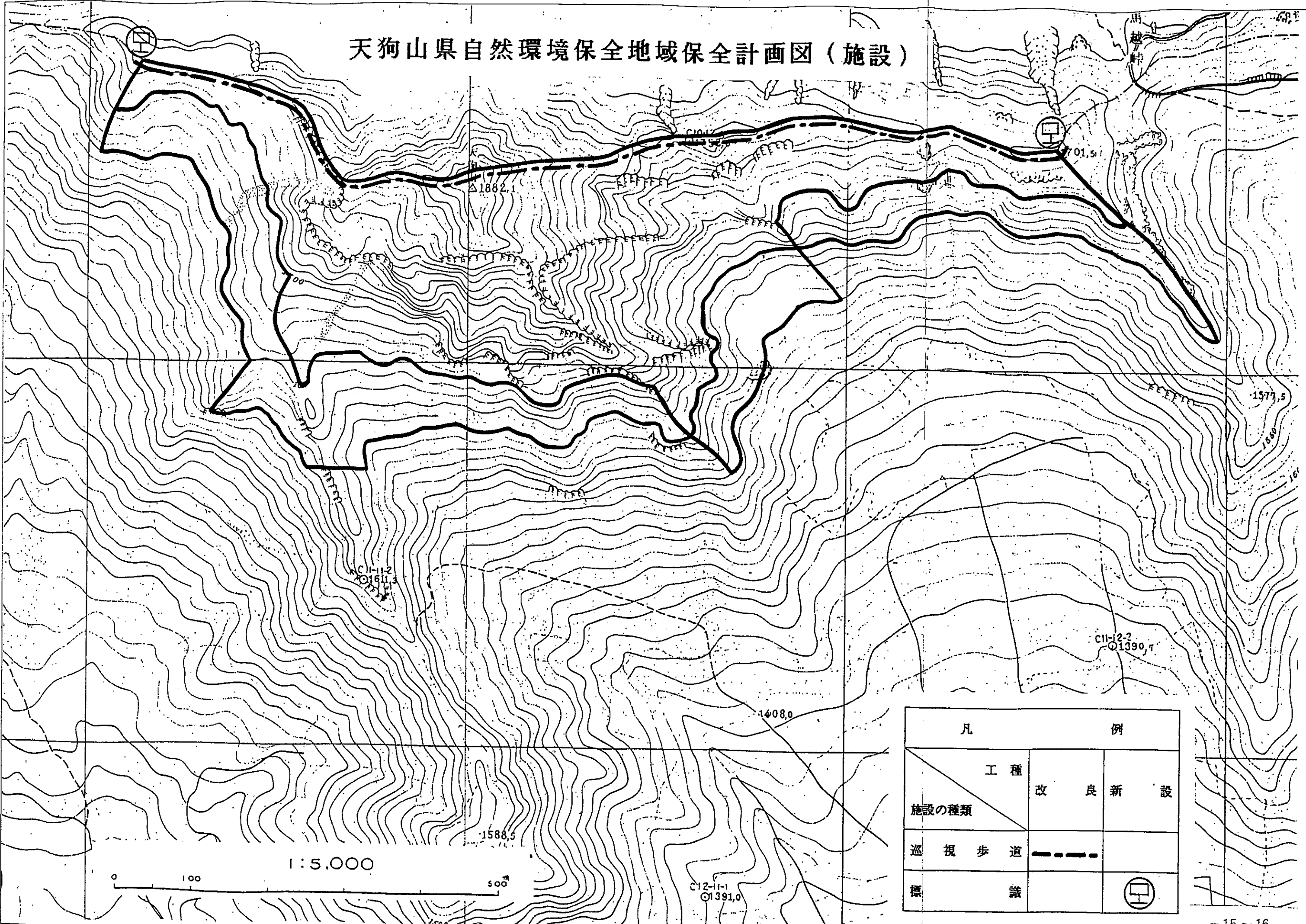
施設の名 称・種類	位 置	規模構造	工 種	摘 要
天狗山巡 視歩道	(起点・終点) 長野県南佐久郡 川上村大字大深 山の一部 別添図面のとおり	延長 1,500 m 巾員 1.0 m	既 設	
標 識	長野県南佐久郡 川上村大字大深 山の一部 別添図面のとおり		新 設	制札、境界杭を含む。 必要箇所を設置する。

# 天狗山県自然環境保全地域特別地区図



区域線表示凡例	
①-②	指定区域界
②-③	等高線 ( 1.700m ) 界
③-④	林 班 界
④-⑤	等高線 ( 1.650m ) 界
⑤-⑥	小 班 界
⑥-⑦	等高線 ( 1.600m ) 界
⑦-⑧	小 班 界
⑧-⑨	等高線 ( 1.650m ) 界
⑨-①	指定区域界

# 天狗山県自然環境保全地域保全計画図（施設）



凡		例	
施設の種類	工種	改	良新設
	巡視歩道	———	
標	識		⊠